

不織布のべたがけは幼苗の保護に効果があります。台風時には防風ネットを草丈の低い野菜にべたがけし、飛ばされないように押さえます。

【大雨対策】

①排水を良好に

速やかに水が引くように、菜園の周囲と畝間に排水溝を作っておきます。

②高畝

水田転換の畑など水がたまりやすい畑では、高畝にします。種まき直後は、種の流出を防ぐため、不織布のべたがけで保護します。

③雨よけ

ビニールトンネルで雨よけができますが、夏は裾を開けて十分な換気が必要です。トマトでは鉄パイプで軒高のある雨傘を作れば、果実の裂果対策にもなります(図3)。

図1 遮光

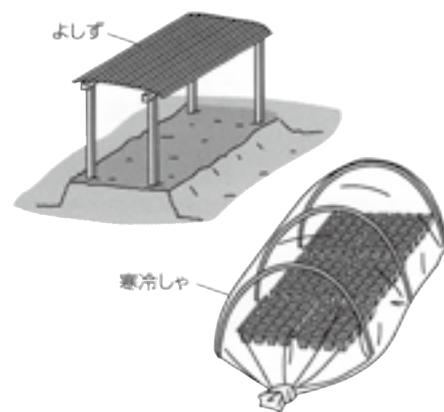


図2 防風ネットの設置

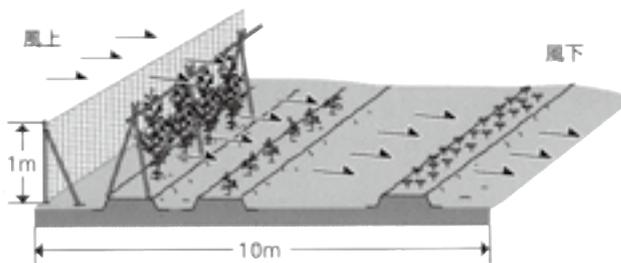
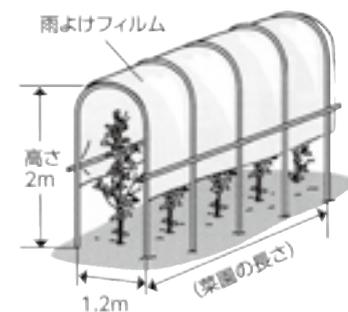


図3 雨よけ



花卉



トルコギキョウ定植前後の管理について



花卉

吉澤 清
下島営農指導センター
080-1774-5386

【花言葉】

- ・すがすがしい美しさ、優美、希望

【原産地・生態】

- ・アメリカ合衆国テキサス州周辺が主な原産地で、高地から低地まで広く生息し、乾燥した地域で生育しますが、地下水位の高い湿った場所に生えています。発芽後に高温。乾燥の環境でロゼット(休眠)して、低温に遭遇後、翌年の夏に開花する宿根草の花です。

【定植準備】

- ・天草地域では、梅雨明け以降の気温が高く、高温期(8月~9月)定植では土壤消毒終了後、遮光率70%程度(白やシルバー)をハウスの上に被覆する。畝は、土壤水分状態が落ち着いた(過乾燥、水分過多ではない)圃場準備を行う。

【定植】

- ・定植時、畝の土壤水分は十分に気を付ける。過剰な水分で定植を行うと土の物理性を壊し、活着不良や根張りを悪くする原因になります。逆に過乾燥となるとロゼット(休眠)短径開花の原因になります。



【定植日の灌水】

- ・定植直後は、苗と圃場の土がなじむ(隙間がなくなる)ように手灌水による根回し灌水を行う。活着(葉が大きく展開すること)までは、過乾燥、水分過多にならないよう少量多回数灌水とする。

【定植日以降の管理】

- ・活着(葉が大きく展開すること)確認後、寒冷紗を除去する(定植後約2週間程度)。寒冷紗の除去は夕方に行い、その日(夕方)と次の日の午前中と夕方はスプリンクラー等で圃場全体を濡らす散水とする。寒冷紗除去~発蕾までは、スプリンクラー等を用いた上部散水を中心に行い、点滴灌水は、量を徐々に減らす。*生育状況と畝の肩が乾かないよう留意しながら土壤水分を落ち着かせていくようなイメージで行う。液肥は、抽台(茎の伸長)を確認してから施用する。

【定植から発蕾までの灌水】

- ・水滴の大きな水での葉水(スプリンクラー灌水、マルチの上に設置したチューブ灌水、蓮口を使った手灌水)を晴天日の午前中(8~10月上旬は9~10時、10月中旬は10~11時、10月下旬以降は、11~13時)に気温を考慮して行う。*葉先枯れ(チップバーン)や茎折れの発生が見られる場合は行わない。

あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

夏の高温 & 風雨対策のポイント

園芸研究家 ● 成松次郎

最近、各地でこれまでに経験したことのないような猛暑や大雨に見舞われることが増えています。このような異常気象の対策を家庭菜園でも考えてみましょう。

【高温対策】

①遮光

強い日差しで温度が上がり、発芽障害や幼苗に葉焼けを起こすことがあります。まき床の上によしずをかけたり、寒冷しゃのトンネルで遮光します（図1）。ただし、遮光しすぎると苗が徒長するので、適度な遮光が必要です。遮光資材は、遮光率50%程度を選び、夜間や曇雨天時は取り除くのが良いでしょう。終日にわたる遮光では20%程度のものを使います。

②灌水（かんすい）

夏の水やりは早朝や夕方に行うのが原則です。日中の灌水は、お湯をかけるようになり、茎葉を傷めることがあります。水が十分にあれば、畝間の灌水も有効です。

③マルチ

土の乾燥防止のため、地面に敷きわらやポリフィルムでマルチをして、蒸散を防ぎます。白や銀色の光を反射する

フィルムは、地温を下げる効果もあります。

【強風対策】

①防風ネットの設置

風上側に防風ネットを設置するとネットの高さの約10倍の距離まで減風効果があります。具体的には網目4mm程度、高さ1m程度のネットが良いでしょう（図2）。非常に大きな風圧がかかるため、ネットを支える支柱は丈夫な単管パイプなどを使います。

②早期の収穫

トマトでは着色を始めた果実、ナス、キュウリはやや小さくても収穫します。トマトは収穫の終わった下の葉を取り除いて、少しでも風圧を避けましょう。

③支柱の補強

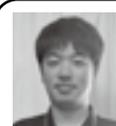
トマト、ナスなどの支柱はしっかり固定し直し、斜め支柱で補強します。台風が予想されるときは、トマトでは支柱を外して茎葉を倒しておきます。ゴーヤーなどのグリーンカーテンは、上のひもをほどいて落としておくことも考えましょう。

③べたがけ

幼苗が風で振り回されると葉がちぎれたりしますので、



8月・9月の柑橘園管理



果樹

原口 悠貴
下島農指導センター
080-2725-7775

1. 病害虫防除

品種	防除時期	対象病害虫	属性	農薬名	希釈倍数
温州	8月上旬	黒点病	普通物	ジマンダイセン水和剤	600倍
	8月中旬 ～下旬	アザミウマ ミカンサビダニ	普通物	コロマイト水和剤	2,000倍
極早生	9月上旬	黒点病	普通物	ナティーボフロアブル	1,500倍
極早生	9月中旬	貯蔵病害	普通物	ベフトップジンフロアブル	1,500倍
早・普	9月中旬	黒点病	普通物	ジマンダイセン水和剤	600倍
中晩柑	8月中旬 ～下旬	アザミウマ ミカンサビダニ	普通物	コロマイト水和剤	2,000倍
		黒点病	普通物	ジマンダイセン水和剤	600倍
	9月下旬	黒点病	普通物	ジマンダイセン水和剤	600倍
ポンカン パール柑	8月中旬 ～下旬	黒点病 炭疽病	普通物	オキシンドー水和剤80	800倍
	9月中旬	黒点病	普通物	ナティーボフロアブル	1,500倍
共通	7月中旬 ～9月中旬	ミカンハダニ サビダニ	普通物	バロックフロアブル	2,000倍
		ミカンハダニ	普通物	ダニオーテフロアブル	3,000倍
		ミカンハダニ ホコリダニ	普通物	スターマイトフロアブル	2,000倍
	発生時	カメムシ	普通物	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍
			劇物	テルスターフロアブル	3,000倍

2. 施肥

○通常タイプ

対象品種	肥料名	施肥時期	10a当たり
デコボン・清見・甘夏・河内晩柑・パール柑	果樹専用スペシャル	9月上旬	4袋

3. 葉面散布

目的	薬剤名	希釈倍数	備考
果皮強化対策	ジューシーカル 又は バイカルティ	1,000倍	温州・デコボン等